

第2回松田町女性が輝き活躍するまちづくり総合戦略等策定協議会 議事録

1. 日時 平成30年2月13日（火） 10：00～12：00
2. 場所 松田町役場1階 AB会議室
3. 出席者 委員：別紙「委員等名簿」のとおり
事務局：政策推進課

(吉田参事兼課長、柳澤課長補佐兼係長、市丸主査、青山主任主事)
4. 配付資料
資料1：委員名簿及び席次表
資料2：協議会設置要綱
資料3：第1回協議会議事録
資料4：総合戦略（素案：事業メニューまで）
別添資料1：松田町女性活躍総合戦略（素案）意見交換のテーマと役割分担（案）
別添資料2：啓発事業 チラシ

5. 議事録

発言者	内 容
次第1. 開会	
事務局	みなさん、おはようございます。定刻になりますので、これより開会いたします。お忙しい時間、ご出席いただきありがとうございます。冒頭の進行をさせていただきます。開会に先立ちまして参事兼政策推進課長の吉田よりご挨拶させていただきます。
次第2. あいさつ	
参事兼政策 推進課長	参事の吉田でございます。協議委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、計画策定にご協力をいただいております。誠にありがとうございます。昨年、12月22日に第1回を開催させていただき、本日は2回目の協議会となります。本日の協議会におきましても、皆様のそれぞれのお立場から忌憚のない意見を頂ければ幸いです。何卒よろしく願いいたします。
事務局	ありがとうございます。
(資料確認)	

発言者	内 容
事務局	<p>本日の議題につきましては、法に基づく基本方針により、できる限り公表が求められていることから、原則、公表される前提でございます。いつも通り、会議の内容が町のホームページ等で公表されますので、ご了承ください。また、撮影、録音もさせていただきます。</p> <p>それでは、資料確認をさせていただきます。</p>
事務局	<p>事前に送ったものもありますが、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(事務局より資料確認)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではこれより、要綱第5条第2項の規定に基づき、委員長に議事の進行をお願いし、進めてまいります。</p> <p>委員長、お願いいたします。</p>
<p>次第3. 第1回協議会の振り返り</p>	
委員長	<p>おはようございます。よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、協議会に入らせていただきます。はじめに第1回協議会の振り返りということで、こちらは事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>第1回協議会で出ました、主な意見について報告させていただきます。</p> <p>(事務局青山よりPPT資料を基に説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>資料3が公開されることになりますよね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員長	<p>前回皆様のご発言されたご意見がそのまま記載された形になっていると思いますが、意図が文章で伝わらなかつたり、誤解を招くような表現になってしまう場合もあります。本日は時間がないので、ここでは詳しく見ませんが、ご自身の発言を確認いただいて、違う箇所がありましたら、事務局の方にお知らせいただいで作成したものを公開させていただきたいと思います。</p> <p>今、事務局に要点を伝えていただきましたが、違うといったご意見がありましたら。その点に関しては大丈夫でしょうか。</p>
委員一同	<p>(意見なし)</p>
委員長	<p>それでは、次第4「女性活躍総合戦略(素案)について」に入らせていただきます。事務局の方、お願いいたします。</p>

発言者	内 容
次第4. 女性活躍総合戦略（素案）について	
事務局	<p>それでは、女性活躍総合戦略（素案）についての説明させていただきます。</p> <p>（事務局より資料4を基に説明）</p>
委員長	<p>ありがとうございます。説明があった素案は決定ではなく、これについてご意見をいただき、ブラッシュアップしていきます。別添資料1に、各委員の担当確認箇所が割り振られていますので、この割り振りをされた方を中心に、まずは、ご意見をいただきたいと思えます。まず、全体としてご質問や不明点ございましたでしょうか。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
委員長	<p>そうすると、重点目標の4つですね。この内容に関しまして細かい提案がされていますので、順番にご意見を伺いたいと思えます。</p> <p>まず、重点目標1番につきまして、事前にお読みいただいていると思えますので、ご意見いただければと思えます。お願いします。</p>
委員	<p>これを見ますと、平成52年には1万人を人口達成目標にしていますが、あまりにも目標が低すぎるのではないですか。かつて、松田町は13,200人まで人口が増えた時もあるって、これが平成9年あたりだと思いますけども、今は確かに人口が減ってしまいましたけれど、その13,200人が住める施設は、今でも、アパートなどは空いているというのが、現実問題としてあるわけですね。それをもっと利用するためには、1万人の目標はあまりにも低すぎると思えます。一昨年12月に現町長も一緒に、長野県に下条村に行きました。ここは人口を増やそうということで子育て支援住宅を建設し、一時はぐっと人口が増えました。それも、高齢者を集めるのではなくて、子育て支援住宅なので子どもがいる若い世代を誘致する形で有名になったということで、我々も視察に行ったわけですけども、下条村というのは本当に山の中のぽつんとした集落みたいな町でした。村の人口は、一度ぐっと増えましたが、今また減り始めているというのですが、それは集落が山の中に点在しているため、人口流入するパイが小さい。住みたい人が集まってしまうと、いなくなってしまう。ところが松田町は交通の利便性が悪いと書いてありますが、私は素晴らしいと思えます。そういう面で近隣にも沢山人が住んでいますので、パイがある訳ですから、この松田の素晴らしい環境、子どもを育てられる素晴らしい環境があるので、子育て支援を中心とした政策を掲げて、戦略に記載された内容を、もっと簡素化してひとつの目標に向かって進んでいかないとあまりにも目標が多すぎて、收拾がつかなくなってしまうのではないかと気がします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、言われたことは、①26ページの課題のところの、人口が減っていることに対する課題ですね。特に若い子育て世帯の人口流出が激しいとか、食い止めることが重要ということだと思いますが、ここの課題について他に不足する点がありましたら、ここについて、(1)～(4)の割り振りの観点からご意見をいただきたいと思えます。今、人口の間</p>

発言者	内 容
事務局	<p>題が出ましたけれども、こちらに挙げられている課題について、見落としている点ですか、重点を置いた方が良い点など、ご意見をいただければと思います。</p> <p>委員の皆さまの話す場にしたいので、事務局からは簡単にご説明します。</p> <p>さきほど、人口が1万人という目標がちょっと低いかという話もありましたが、25年後の国の試算は7,000人になっており、町の総合戦略の審議会で最終的に1万人とさせていただきました。おっしゃるように昔は13,000人という人口がいましたが、全体の試算がそれだけ今は危機的な状況であります。1万人をキープしていくためにどこが問題かという、やはり女性の人数が減ってしまっている点であり、今後、少子化に関わる一番の課題はそこだと認識しています。そのため、今回、女性活躍の総合戦略を定めることとなりました。</p> <p>27ページの、基本目標、重点目標は、アンケート等をいろいろやらせてもらった中で、最終的にこういう形で取りまとめているのですが、そこが視点としてずれていないか、各々違う立場で違うと思う点や足りないと思う点をご意見としていただければと思っています。先ほど、言われた内容というのは、網羅されるというか、簡素化させた方が良いかという課題はありますが、それぞれの中では、いろいろな項目として出てきている部分は押さえているとは思っていますので、よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いてお願いします。</p>
委員	<p>「女性にとって働きやすい就業環境があるまち」が重点目標というお話ですが、まず、アンケートの男女別の退職理由のところ、「結婚・出産のため」や「家事や育児に専念するため」という理由が一番多いというのが出ていましたが、そこはあくまでも自主的な希望が多いのかなと思うのですが、「家事や育児との両立が困難であるため」のというのが39名おり、ここの課題を解決することが必要だと思います。</p> <p>どうして両立することが困難だと思ったのか、企業に両立するための制度がなかったのか、それとも、企業が女性は活躍しなくていいというスタイルだったのか。企業が女性に対してどの程度まで求めているのかで大きく変わってくると思いますので、女性の働きたいという意欲だけでなく、企業がどこまで女性に活躍してもらいたいのかという思いが、合致しないとなかなか難しいのではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。えるぼしマークなどを調査していただきましたが、そういった取り組みをあまりする気がない事業所が多いなかで、女性が活躍しなくていいというような風潮があると、長く勤めようと思わなくなり、結婚後に自主的に退職したりすることもあると思います。</p> <p>そういうものを認定している、策定している会社を優先的に取り上げたり、いろんな施策があると思います。いろんな取り組み方で、企業の意識改革も必要ですね。</p> <p>続いて、お願いします。</p>
委員	<p>少し客観的な意見になるかもしれませんが、松田支店で勤務しており、先日就労研修がありまして、自分の支店名と名前を机の上に置いていましたが、同じ銀行内で県内であるにも</p>

発言者	内 容
	<p>かかわらず、松田支店がどこにあるのかと聞かれることがあり、他の企業の友達は、横浜など、都会に働きに行っている人が多いですが、松田町で働いていると言うと、「何もなくて可哀相」と言われてしまうので、松田町を知らない方がいたり、イメージとして、ここで働きたいと思えるなにかが今はないのかなと思います。</p> <p>以前、開成支店で勤務したことがあります。新しいマンションが多いため、お客様も働きながら子育てをして、小さい子を連れて来られる方が多かったです。松田支店には現在4ヶ月程度いますが、ほとんどお子さん連れの方を見たことがありません。開成ですと、例えば、南足柄の富士ゼロックスや富士フィルムなど、近隣に大きな会社があるのが一つだと思うのですが、松田町は外から移り住んでどこかに働きに行くという環境がまだ整っていないのではないかと印象を受けました。</p> <p>松田支店の人で帰りに買い物をして帰りたいのに、そのような場所がないというのを多く聞きます。前回出たテーマとも重複しますが、まずはイメージの改善や、移り住んで働きたいという環境づくりにも力を入れていく必要があると思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。子育て施策もありますけれど、住みたいという気持ちや、イメージなども重要と思いました。ありがとうございます。</p> <p>そうしましたら、②番、これは全員に聞いた方がよろしいですか。</p>
事務局	<p>できれば、前回、ひとつのテーマで議論がなかったので、1つに1回は発言いただいて、本日は、先ほど言いましたとおり、基本目標や重点目標など、その辺のところまでしっかり固めて、個別の意見はプラスアルファでいただければと思います。</p> <p>せっかく来ていただいているので、一回は皆さんにご発言いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>それでは、26ページの①番の、町の優位性と課題について不足している事項について、お願いします。</p>
副委員長	<p>前回も出てきていましたが、住宅利用地など利用可能な土地に限られるというところは、そうではないとの意見も出てきていたので、活用方法が課題であるという認識ができれば良いかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、お願いします。課題などありますでしょうか。</p>
委員	<p>重点目標を見せて頂いて、保育園がということではなく、私個人が思っていることをお話しさせていただいても良いでしょうか。</p> <p>まずこの「延長保育事業」を松田さくら保育園でやっていますが、午後7時以降に預かってほしいという方もいらっしゃる。その辺が今後どうなのかなと思ったところと、「通常保育事業」が、来年度から保育園120人に定員を増やしますが、もう既に在籍している児童が142人で、卒園児が20名しかいないので、4月から定員越えという状況でスタートすることになります。事業メニューには、「31年度の状況によって、小規模保育の設置」と書いてありますが、これを早めにやらないと、お仕事しているお母さんのお子さんを</p>

発言者	内 容
	<p>保育園でカバーしていくのは難しいと思います。</p> <p>また、「特定保育事業」も、午前ないし午後だけの利用ということなので、もし保育園で午後だけの利用という形になると、午前からいる子どもたちがお昼寝をしているところから来るので、うまく生活をそろえていくことができるのか、すぐ寝られるのかという点がどうかなと思いました。また、「乳児保育」のところで、小さい子から預かっていますが、お母さん達の育児支援として、保育園でなく家で育てられるような支援も始められるといいのではと思いました。</p> <p>あとは、「3. 自然や地域の資源を生かした子育ての推進」、はどんどんやって欲しいと思いました。保育園の散歩などで色々な所へ行きますが、その中で思っているのが、公園をもう少し増やしていただくと、子どもたちが遊びこめるのかなと思います。今は宮下公園や開成の水辺公園まで行っていますが、もう少しみんなで遊べるところが、子どもの館などの上の所ではなく、下の方にもあると嬉しいと思います。</p> <p>また、延長保育事業のところで、卒園していくお母さん達から、保育園は朝7時から見てくれるから良いが、小学校に行くようになると朝の学童保育がないから、子どもたちを家に置いてそのまま出勤するのが怖い、という話をよく聞きます。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、重点目標について、お願いします。</p>
委員	<p>松田町は他市町村と比べて、保育や子どもの預かり、お母さん方のサポートというところではかなり力が入っているかと思います。ネットなど、色々なものを見まして、他の市町村から、松田町にはこんなに支援があるのだと、松田町に小さいお子さんを連れて越されてくる方が増えています。赤ちゃんを松田町で生み、育てることによって、医療費や保育料、助成金、給食費の助成金、温かい給食が食べられる、というところを見て来たという方もいらっしゃるので、松田町が独自で実施している取組や、ここで育てたらのびのびとすくすく育つというアピールをしていくと、子ども連れの方々が増えていくのではないかと思っています。ただ実際に松田町は山がほとんどで、住宅としてこれ以上家が建てられない。空き家はありますが、アパートという形の物が多い。今現在、空地になっているところへ、若い方が家を建てて新規に住んでいるケースがとても多いです。</p> <p>先ほどありました、小学生1年生や幼稚園のお子さんを朝、家に置いて出かけなければならないことに関しては、子育て支援センターのサポートがあります。事前に予約をしていただくと、サポートの方達が、朝早くにお宅に伺って、子どもさんを支度させ、学校まで送り届けるサポートがありますので、やはりそのあたりもPRしていけば、お母さん方が利用でき、子育てを安心してできるのではないかと思います。</p> <p>また、2-①-10の女性が輝き活躍する事業は、旧松田土木事務所で、子育て支援センター事業を展開とあり、2-①-3のファミリーサポートセンターの事業と分けて書いてありますが、これを一緒にしたら、もっとわかりやすくできるのではと思います。子育ての支援が、旧松田土木事務所で今後できるという所がくっついているとより分かりやすくなるのではないかと思います。事業的などころであえて分けていると思いますが、もう少しわかりやすくなれば良いと思います。</p>
委員長	<p>子育て支援は、非常に充実している部分もあるのかなと思いますが、PR不足の部分もあ</p>

発言者	内 容
委員	<p>るのかもしれませんが。</p> <p>ある程度やってしまうと、ここまでやったのだからもう少しこんな支援ができるのではと人間的に欲が出てくると、財政的にもアップアップしてきますし、お母さん方の子育てに対する大切さを忘れ、もっとやってくれたらいいのにと欲がでてきてしまうため、どこまでやれば良いのかという線引きが大変難しいです。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。続いて、お願いします。</p>
委員	<p>重点目標2の中で、「地域一体となって自然の中でのびのび子育てできるまち」とありますが、その項目の下に、介護支援サービスや関連制度・施設の充実と記載があるのに、題目や事業メニューに介護のことが書かれていない点に違和感がありどうなのかなと思いました。重点目標に書くのであれば、加えた方がいいのではないのでしょうか。</p>
委員長	<p>4ページをご覧ください、細かい事業メニューがありますが、これは今実施されている事業が並んでいて、下線のあるものがこれから新しく策定してはどうかという提案ということですね。介護に関わる事業も色々あると思いますが、事業メニューに出てきていませんので、先ほど、收拾がつかなくなってしまうというご意見もありましたが、女性の活躍の中に介護も必要というご意見も、第1回協議会でありましたので、それを入れるかということをお話し合うことも必要ですね。</p>
委員	<p>35ページに、「幼小中PTA家庭教育学級の開催」とありますが、私自身、幼稚園、小学校とPTAをやっているんですけど、家庭教育学級のやり方に迷う所です。一生懸命PTA役員が人を集めて、取組を一生懸命考えて工夫をしているが、実際に保護者が参加しないので、こちらに書かれると、かなりプレッシャーを感じます。実際、家庭教育学級は、子育て支援をしているかもしれませんが、一生懸命頑張らなければいけないのはPTA役員なので、町のプランに書くのはどうなのかなと思います。</p>
委員長	<p>PTAは、女性活躍となかなか相性が悪く難しいところがありますね。平日の昼間10時に来てくださと言われるのがいかに辛い。人が集まらないし、役員が辛いということがあるかもしれません。一方で、子育て環境としては必要な部分であろうかと思えます。開催時間や場所、企画など、色々やりやすい形にできても良いのかもしれませんが、これは町が実施する取組のみを記載するプランですか？</p>
事務局	<p>ここに書いてあるものを全て行政がやるというだけであれば、この計画は面白くなく、色々な主体で実施される取組を入れられたらと思います。本日も参画いただいている委員の皆さんからも、足りない取組や、委員の皆さんがなさっている取組も記載してほしいなどおっしゃっていただければ嬉しいです。PTA役員の方々のご苦労は分かりますが、地域での親のコミュニケーションは非常に大事な部分かなと思いますので、うまく連携していただければと思います。</p>

発言者	内 容
委員長	町が実施する取組だけ記載するプランでは無いということですね。
事務局	町の事業プラスアルファで取組の提案をお話いただければ幸いです。
委員長	続いて、お願いします。
委員	<p>重点目標の、「地域一体となって自然の中で…」ということなのですが、松田幼稚園も寄幼稚園も、園の近くの畑を町民の方が貸し出してくださっています。そこで自分たちで種をまき、水をあげて育てる。それを給食で食べているとのこと。今まで野菜が食べられなかった子が自分で育てたものはとても美味しかったと、それ以降、野菜が食べられるようになったというお話もあります。そういった部分があって、それは一つの部分ですが、本当に地域の皆さまから見守られているというのはPTA会長をやらせていただいて感じることができています。</p> <p>あとは、皆さんおっしゃっていましたが、子育てサービスに関してはとても充実していると思います。ただ、これを父親がどれだけ把握しているのか、自分の妻や子どもがどういった事をやっているのか理解できているのか疑問です。特にネットやテレビでよく言われているのが、父親が子どもの予防接種のローテーションを把握しているのと聞かれたときに、答えられない父親がほとんどだと思います。それではいけないと思う部分もあるので、各家庭によっていろんな形態があるので一概には言えませんが、ママと子どもの教室だけでなく、パパと子どもが行く取組もあると良いのではないかと思います。</p> <p>話が前後しますが、「松田町の優位性と課題」の子育て行政のところ、「人口当たりの保育所や幼稚園、小中学校が多い」という点ですが、先ほど、お話がありましたが、保育園は定員超過となっているにもかかわらず、幼稚園はまだ受入れができるよという状況で、園児数が減少している現実もありますので、人口当たりに対してどうこうよりは、現状に即した形にはどうしていったらいいかという所が今後課題になると思います。例えば、寄は自然に囲まれているから住みたい、でも小学校に同級生が数人しかいない、それではどうしようと悩まれる方も多くなるのではという問題もあるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。パパの目線が書いてなかったため、大変有り難いと思います。保育園・幼稚園の問題も、場所や預かっていただける時間の問題、お子さんの生活環境の両面から、細かい課題ですがすぐに出来ないことだと思います。</p> <p>続いてお願いします。</p>
委員	<p>松田の場合は、お子さんが下校する際に、「これから下校します」という放送が入りますが、それが町の方全体が、これから子ども達が帰るとい見守りの意識が高まり、その点はとても良いと思います。</p> <p>「女性活躍のための基盤が整ったまち」となると、女性がまず活躍するには、それなりにサポートが必要で、例えば、町で企画されている講演会やセミナーがあった時に、託児がないケースもあります。興味を持ったとしても託児の欄に、「静かにしていただけるお子さんは一緒に出席できます」といった表記があるケースもありますが、子どもにとっては無</p>

発言者	内 容
	<p>理な話で、乳幼児をもつ方は参加できない。まず、そういったところから少しずつ考えを変えていただけたら良いかと思います。色々な事を知りたい・学びたいと思ってお母さんは沢山います。細かいところですが、少しずつ改善されたらいいのではと思いました。</p> <p>また、子育て支援センターでは12月から月に一回、土曜日に開所しています。普段と同じ10時から3時半、第4土曜日も開けることにしました。12月1月と2回開けましたが、どちらもお父さんに来ていただいて、とても嬉しく思っています。平日は来られないので土曜日に空いていると嬉しいと言って来ていただいています。他のお子さんも、男性がいると雰囲気違って、遊んでもらいたい雰囲気になります。自然とお父さんの方に皆が吸い寄せられていって、自分のお子さんだけでなく他のお子さんと一緒に遊んでいただいたり、子どもたちが他のお子さんのお父さんとのふれあいもできて、とても良いと思っています。また、お父さんにも興味をもっていただけたということも、良かったと思います。</p> <p>来ていただいているお母さんの中には、松田町の公園はたくさんあって、自然が豊かですが、遊具が足りないのでしょうか、子ども達が飽きてしまい、あまり長い時間遊べないと聞きます。近隣の町外の公園にわざわざ出かけたり、夏休みには山北に行ってしまう。松田町にこんなに自然がたくさんあるのに、もったいないと思います。最近は秦野のカルチャーパークというところが新しくなり、小さいお子さんからちょっと大きいお子さんまで遊べる遊具があったり、対象年齢の幅が広い。駐車場も広い。川遊びもできる。松田町は、もう少しなんとかならないかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。続きましてお願いします。</p>
委員	<p>「コンパクトで安心・安全、女性活躍のための基盤が整ったまち」というタイトルで、そもそも女性活躍のための基盤というのは何かと思った時に、やはり皆さんへの啓蒙が一番大事なのかと思いました。自治会で委員に占める女性の割合が低いことをみても、男性社会とまでは言わないですが。自治会長さんの奥さまが裏でとても活躍していて、行事にも役員並みに参加されていると思いますが、役職名ということになるとなかなか出てこない。遠慮されているのか、とそういう基盤があるのかと思います。まず、女性が出やすい雰囲気づくりが大事かと思います。</p> <p>P38の3-①-15に、「ふれあい相談員の育成・配置」というプラン名があり、3-①-16にも、「ふれあい相談員や社会福祉協議会等と協働して…」と続きますが、現在、ふれあい相談員は民生委員と同様に、成り手が無い状況です。こういう方たちにやってもらうというよりは、ふれあい相談員をサポートする人たちが出てきてくれると「コンパクトで安心安全で、女性活躍のための基盤が整う」ということにつながるのかなと思います。今はふれあい相談員に何でもお願いしてやってもらっている風潮がありますので、ここがもう少し、みんなでやろうとなればいいのかと思います。</p> <p>3-①-16の「地域の茶の間活動の推進」は、どちらかというと高齢者向けの施策なのですが、地域の茶の間づくりの一環で、子育て中のお母さんと高齢者が気軽にふれ合えるような、一緒にできるような茶の間づくりのようになっていけばいいかなと思います。なかなか二極化してしまっていて、一緒に実施する企画が、なかなかうまくいかないのが、今後の課題かと思っています。</p>

発言者	内 容
	39ページの3-③-6で、「女性が集い、憩い、美しくなる場の創出」という素敵なプラン名がありますが、ここだけ見た時に、違和感とまでは言わないですが、なるほど、と思いつつ、こちらはどちらかと言うと、P34の2-①-10の旧松田土木事務所の事業と合わせて総合的な感じになればいいのかなという気がしました。
委員長	ありがとうございました。3-③-6は旧松田土木事務所の改修イメージからきているのでしょうか。
事務局	今おっしゃった通りでして、旧松田土木事務所に、国に対して申請している計画がございます。その中では、キーワードとして“オールインワン”ということを求めています、いろんな機能を“美しく”というキーワードでやってみたい計画として国には認めていただいています、別の検討の場で、行政と色々な関係者が改修内容についての検討を進めています。最終的なイメージがこれに落ち着けばオールインワンで全て叶う話になりますが、若干、内容の変更が予想されます。
委員長	新規の事業ですか。新規とは書いてありませんが。
事務局	新規です。
委員長	今すでに事業がされているわけではないのですね。
事務局	ありません。
委員	事業メニューの「子育て世帯への空き家の紹介」について、今松田町は空き家が沢山あります。若い人達に自由にリノベーションさせ、アーティストの卵が集団で移住するという話はよく聞いたりしますが、そういう形で呼び込むというのもひとつだと思います。現状、寄には空き家がたくさんありますが、すぐ入居できる空き家が整備されていません。一度、民生委員の立場から、シングルで子育てしている方で、賃貸で借りている家が借りられなくなり、学区は変えたくないの、他の空き家を急遽探したい、という相談を受けましたが、空き家はありますが、まだ相続が済んでいないとか、親の荷物がそのまま残されているという物件ばかりでした。実際、空き家バンクなどを町でやっているのは知っていますが、追い付いていない状況かと思しますので、すぐ入居できる空き家の整備をしていただきたいのが現状です。
委員長	ありがとうございます。
委員	良い古民家もありますが、そのままの状態となっており、空き家のままだとせっかくの物件もダメになってしまう可能性もありますので。
委員長	ありがとうございます。公共が手を出しにくいところですが、うまくマッチングできれば良いと思います。続いて、お願いします。

発言者	内 容
委員	<p>なかなか、「女性活躍の基盤が整ったまちづくり」というのは難しいと思います。町内に女性が仕事に就く場所を確保するというよりも、やはり、交通の便というのは通勤にとって非常に利便性が高いということですし、おそらく保育所の利用が多いのも、そういうところにあると思います。例えば松田町で仕事をされていて、帰りに買い物をして帰ろうと思ったのに何も無いということがあります。逆に、惣菜の一つでも買っていけるような所が駅前にあると、松田町から働きにいった帰ってくる時に非常に便利かなと思うことが多々あります。あの辺りの空き店舗を活用しながら、そういう店舗が増えていくと、通勤しながら生活する場合の立地条件を考える時に良いと思います。それについては、駅前の開発の部分で、動き始めているところでもありますので、そういうところとプランニングを合わせながらやってもらえたらいいと思います。</p> <p>あと気になったのですが、P12について、よろしいでしょうか。住宅の価格のところ、新松田駅周辺は土地の単価は高いと思います。松田町が開成町より低いのはどういう事かなと。地域別に分析していただかないと難しい表現だと思いました。</p> <p>また、P2ですが、役場の中にもいろんな部署があり、女性が登場する箇所が沢山あります。”その他、女性を取り巻く様々な環境に関わる各種計画”とありますが、環境だけではないので、そこは、状況であったり、ご本人様の意思決定という部分もかかわってくるので、環境という言葉は適切ではないと思います。ご一考いただきたいと思うところです。</p> <p>少しだけ付け加えさせていただくと、在宅の支援の部分について、松田町は子育て世代包括支援センター（子育て相談室のびのび）というところが、妊婦の段階から継続して関わっています。保育所と幼稚園でも何かあった場合には保健師や臨床心理士のネットワークが積み上げられていて、そのあたりのところも、十分女性活躍のところに通じると思います。よって、母子保健の部分に書き加えていただかなければと思いました。介護も同様です。よろしくお願いします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。色々ところで、すでに施策もあるでしょうが、つながって見えてこない部分もあるのかもしれませんが、そのあたりも、まとめて見えたらと思います。では、お願いします。</p>
委員	<p>最近、松田町の寄のロウバイまつりにしても、桜まつりにしても、PRする雑誌等が増えていて、小田原に行っても、雑誌が置いてあるので、とても目につくようになったなと思います。</p> <p>「住みたい、住み続けたい」は住んでいる方に対する話だと思いますが、子育てが忙しい時期は、あまり観光を見に行ける状況ではなかったもので、下の子が11歳になり、この町を探索しながら、松田町の良い所、知らない所を観光しています。そこで気が付いたのは、寄では、住んでいる方々がとても協力していて、お店を出していたり、言葉をかけあったり、他県から来た方にも「ここはいいところだよ」とストレートに素直に話している姿をみて、町中心部にももっとそのような姿があればと思いました。逆に言うと、町中心部に住んでいる方々は、桜まつりがあると混雑してしまうので、避けて違う所に行ってしまうような傾向があり、歓迎する気持ちを持っているのだろうかという疑問を持ちました。寄では皆さんが歓迎していて、どの方もいい感じなのに、町中心部まで来ると、観光をやっているけど、便利な所に買い物に行って、便利な公園に行って、という感じを受けてしまいま</p>

発言者	内 容
	<p>す。特に、幼稚園、保育園ぐらいたと桜まつりや寄でサツマイモを掘ったり畑をやったりと、地域との関わりがありますが、小・中・高校にあがると、町の行事から離れてしまいますので、もう少し地域に密着した形で、今後も関わりをもてたら良いのではないかと思います。</p> <p>一緒になにかをやっている感は大切に、子どもが少し大きくなってきて初めてこうした委員活動ができます。</p> <p>私は、”女性が集い、憩い、美しくなる場の創出”のような仕事をしています。今もレッスンで体操を女性に教えてきましたが、実は女性達は自分の時間を持つことや町で暮らしている人とのコミュニケーションや集うカフェが欲しいと思っています。</p> <p>先ほどもありましたが、コンビニの物を買ってくるのではなく、町のもので作られたお惣菜や、町のお米で作られたおにぎり、町の米粉のケーキなど、そういうものを駅前の店舗で買って持って帰られたら良いと思います。地産地消というか、コンビニやイオンさんの食材ではないものが買えること。忙しい女性の生活スタイルの中で、一つでも毎日、食べ物や、見える町並みなど、何か町のことに密着している感があれば、あたたかい町が作れるのではないかと思います。正直言って寄はすごいなと思います。すごくあたたかい感じを受けました。同じものをもらいつつ、空き家のリノベーションや、安い住宅の情報が流れれば良いと思います。</p> <p>若い子どもたちもそうです。自分の中学生の子ども達が就職するときに、足柄平野に良い仕事があれば、一度大学で東京に行ってもこちらに戻って就職してみたいと思ってくれるかもしれません。例えば、寄の自然を活かした山歩きにしても、釣りが得意な子は釣り針など、そういった仕事をする場も、こんなに魅力的な自然があって、医療センターができていますので、ここで就職してしまえばいいという気持ちになれるきっかけを、これから足柄平野全体でつくり、支点は松田町となったら良いと思います。</p>
委員長	<p>重点目標の「住みたい・住み続けたい・戻ってきたい」ということで“PR”と書いてあって、なんとなく外向けのPRをイメージされやすいですが、今お話があったように、若い方にアンケートをして、「住みたい町＝地元愛が強い」というのがデータでありまして、地元のここが自慢、ここが好きというように、まちの中で魅力を発見していくことが大切かなと思います。良いところがたくさんあっても、持続しないとダメですね。それができるような仕掛けや、町の魅力を実感できる場があれば良いと思います。かつ、便利さが必要ということもあるので、今話されたようなことが、駅前などで実現できればよいと思いました。続いて、お願いします。</p>
委員	<p>今お話があったように、松田町は人が温かいというのは自分自身が引っ越してきて思うところで、大きなスーパーはないですが、商店街があって、お客さんと売っている側の距離が近いかなと思っています。そういう距離が近い関係や、なにげない会話が好きで、大井町の直売所にも買いに行ったりしています。新しい地の野菜の料理に挑戦できるきっかけにもなるので、ちょっとしたコミュニケーションがとれるような、松田だからこその温かさを感じられる場が増えていったら良いなと思っています。松田にはきれいな山や川があるので、それを大いに活用して大いにアピールしていったら良いと思います。</p> <p>重点目標4-①-7に、「地域に残る伝統芸能等を保存していくとともに、小学生、中学生等</p>

発言者	内 容
	<p>へ…」という事業がありますが、幼稚園や保育園の子ども達まで年齢を下げると、親も一緒に行くことができ、親も喜んで参加してくれるというのがありますので、そういった意味では、幼稚園や保育園の子どもたちまで年齢を下げることにより、あえて大人も一緒になって楽しむことで、口コミで広がるパワーがあったり、子どもの笑顔を見てママやパパに喜んでもらえ、良い方向へ働くのではないかと思います。</p> <p>まちの魅力については、町内の方が知らないことが多くて、先ほど話に出ていた公園についても、町内の公園にあるものをよく知って実際に行って、遊び方が分かれば、現状のままでも今まで以上に楽しめるのではないかと思います。</p>
委員長	<p>4-①-8、4-①-9が新しく提案されているところですが、町の中の生活に根差したイベントや発見の仕方があるのかなと思います。何か自分たちで活動につなげていけるものであればと思います。</p> <p>続いて、お願いします。</p>
委員	<p>町の認知度が低い点ということですが、無理に高めようとする必要はないと思います。松田町は人口も少ないし、町も小さいので、他の大きな町のマネをする必要はないと思っていて、PR発信も大切ですが、住んでいる人たちが、まず、自分たちの町を好きで、暮らしを楽しんでいれば、松田町に来た人たちにもそれが伝わります。楽しい町は、行ってみると町の雰囲気も人の雰囲気も、来た人に伝わるので、何かを発信することも大切ですが、それ以上に、今住んでいる人たちに、どれだけ松田町が良いのかを実感して欲しいと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。いろいろご意見が出ましたが。全体を通して副委員長からお願いします。</p>
副委員長	<p>みなさんから意見いただきまして、町としてできる施策は、子育て支援に関しても充実されている部分が非常に沢山あることを改めて感じました。一方で、そのことがパパのコミュニティに伝わっていなかったり、町の外に伝わっていないことが分かりました。</p> <p>私はマーケティングに関することをやっておりますが、マーケティングではどう伝えるかが重要です。まずは、町の中の人たちがきちんと価値を把握する、ということがすごく重要なこととなります。中の人達にきちんと理解していただくことが重要な部分で、その上で、外の人達に発信すること。PRということでいろいろ発信すると思うのですが、やみくもにPR広告を出すのは意味がないことなので、どこのターゲットに向けたPRか、子育て世代にするのかを、きちんと考えた上でのPRが必要だと思います。町が中心になって町のHPやSNSを通じてPRするというのが大きいと思いますが、町に住んでいる方が、どこが良いのかを発信することが重要になってきますので、町からの発信だけではなく、住民からの発信ができるようなPR活動ができたら一番良いと感じました。</p>
委員長	<p>どこから発信するかですね。町の施策もいろいろあると思いますが、そういうことを支援する体制になれば、お金をかけて何かやるよりも良いのかなと思います。</p>

発言者	内 容
委員	<p>本日、皆様にお聞きしたいと思っていたのは、我々も商工振興会で話をする中で、保育園の話ですが、幼稚園の場合は9時に子どもを送っていき、14時か14時半には帰ってきてしまう。昼の11時半に迎えに来てほしいなんていうこともあり、私は商売柄、当然これでは幼稚園には子どもを預けられないと思う経験もあります。色々話をしていく中で、現在は、第2幼稚園では子どもが増えて、幼稚園では子どもが減っていて、我々の中では、幼稚園のニーズはあまりないのではないかと、それより、保育園にした方が女性が活躍する時間ももっと増えるのではないかと思います。女性の皆さんは幼稚園と保育園のバランスをどのように考えているのか、また、保育園が足りないのではと思っていますが、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>制度の問題と現実というのが難しいところですね。</p>
事務局	<p>子育ての関係は、保育園が新しくできました。定員は以前の定員の倍以上となり、松田さくら保育園が耐えに耐えている状況にあります。幼稚園に関しては利用者が減ってはいますが、そこは延長保育等の取組により、なんとか保育園の負担を減らしています。また、少しだけ働くというお母さんもいますので、幼稚園の延長保育で少しの負担で利用できる制度を作っています。あとは、国の流れとして、認定こども園という大きな流れがあります。時間は短いですが、自己負担の金額も幼稚園は低めですし、そのニーズも確実にあるところなので、町としてこれから完璧にこうしようという方向性は決まっています。幼稚園と保育園が一緒になったような、認定こども園というのがありますが、それを目指すのが良いのではと個人的には思っていますが、それをここで結論づけるのは難しいと思います。ニーズとしては皆さん同じことを思っていると思います。</p>
委員長	<p>難しいですね。 そろそろ時間になっていますが、全体でご意見がございましたら。</p>
委員	<p>幼稚園と保育園の関係ですが、私が移住した理由は、幼稚園が3年保育で給食が美味しく、格安の月謝で、主婦をしているお母さんには非常に有難いと思ったことです。最初に子どもを入れてから、パートに出たり働き始めたりという方もいます。</p> <p>子育てを重点的に考えると、幼稚園も小学校も中学校も、一つずつぐらいいかない松田町の魅力というのは、ずっと子どもも親も一緒に育っていけるということだと思います。保育園に入れてしまうと母親と子どもがふれあう時間が少なくなるのではと思いますが、公立の幼稚園だと子どもも親も一緒に学べ、給食も中学まであります。</p> <p>色々生活水準も違うと思うので、公立に入れないといけない家庭もありますが、保育時間が短く、14時に迎えに行く必要があるなどありますが、子どもたちや親と一緒に育つ環境は良いと思います。幼稚園と保育園の合併型は理想です。</p> <p>私立と公立の差というのは、高校に行く段階で非常に感じています。私立に入れば女性は働かざるを得ない。塾費も学費も払わなければいけない。毎日8時間、働かなければならないなど、余裕のない生活に代わることになっていきますので、その辺が、家族がどう暮らしていきたいかです。いぶん変わっていくのではないかと思います。だからこそ、町の中で少しでも買い物やお茶を飲んで触れ合える場がこれから必要なのではないかと思います。外に</p>

発言者	内 容
委員長	<p>行くと外の人としか会えなくなるので、町中で交流できる場所があると良いと思います。幼稚園も保育園も一つの交流の場だと思います。お迎えや送りなど。お父さん方が関わる機会が少ないので、是非お父さん方に関わって欲しいと思います。</p> <p>子育ての欲は尽きないと先ほどありましたが、一方で子どもの教育関係をそのあたり、両面から検討いただければいいのかなと思います。</p>
<p>次第5. 男女共同参画プラン（素案）について</p>	
委員長	<p>時間がきましたので、議事次第の5番に移ります。事務局の方からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>次第の5番、男女共同参画プランの進捗について、ご報告いたします。</p> <p>（事務局青山より、PPT資料を用いて説明）</p>
委員長	<p>ありがとうございます。先ほどの女性活躍総合戦略のP2に略図がありまして、関係がややこしいのですが、男女共同参画プランは2月の末に素案が出来て、それを皆さんに意見照会しパブリックコメントいただいて、それがその戦略に反映するという形ですか。逆ですか？</p>
事務局	<p>男女共同参画プランと女性活躍総合戦略は、連携性はありますが、反映というよりは、お互い齟齬のないように、という部分だと思います。</p>
委員長	<p>そうすると2月末ぐらいに男女共同参画プラン（案）を確認して、違う所や、ご質問を頂ければと思います。</p> <p>今の事に関しまして、何かご質問等はございますか。</p> <p>今後、関係各課へのヒアリングということですので、具体的な内容が出てくるということですね。不十分な点や、書きすぎの点がでてくるかなと思います。</p>
<p>次第6. その他の取組について</p>	
委員長	<p>次第の6番、その他の取組についてということで、事務局よりご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（事務局青山より、PPT資料を用いて、啓発事業及び実証実験について説明）</p>
委員長	<p>今のことについて、何かご質問はございますか。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。説明は以上となります。</p>

発言者	内 容
次第7. 閉会	
事務局	<p>それではみなさん、本日も約2時間、ありがとうございました。</p> <p>説明がどうしても駆け足となりましたが、本日いただいたご意見、いろんな視点でいただくことができました。次回までに修正できるものは反映させていただきますし、個別に意見を頂戴することも想定していますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次回は、3月後半になると思います。日程調整はまた改めてさせていただきます。</p> <p>また、私から2点ほどお願いがございます。一点目は、冒頭に説明がありました第1回協議会の会議録についてです。こちらは、ホームページにそのまま掲載されますので、表現が気になる方は目を通してください。二点目は、2月21日のセミナーについてでございます。是非、お友達にもお誘いいただいて良いですし、チラシはご要望がありましたら、こちらの方でご用意いたします。例えば、保育園に置いていただいてもいいかと思えます。</p> <p>次回で、基本的には内容が固まることとなりますが、引き続き、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>